



大津市議会議員

かわい昭成 あきなり にゆーあ News Report ねぽーと

次の世代のために! 地方から変える!!

2014年4月24日発行

第5号

後援会資料

かわい昭成後援会 会報

発行: かわい昭成後援会 事務局

E-mail : otayori@a-kawai.net

URL : http://www.a-kawai.net/

皆さんとともに 笑顔のまち大津をつくる!!

日頃は、温かいご支援を賜りましてありがとうございます。新しい年度が始まり、2月議会で決定した予算にもとづいて事業が進められますが、皆様のお声を伺いながら、それぞれの事業が効果的に実行されるように確認や提言を行っています。今回は、2月議会の質問を中心に、最近の活動報告を兼ねて、後援会報（第5号）を作成いたしました。ご一読いただけますと幸甚です。

早いもので、市議会議員の任期もあと1年となりましたが、引き続き、皆様のお声を伺いながら、全力で今よりも住み良い大津市を目指して頑張ってまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

大津市議会議員 河井 昭成



活動報告

地域で取り組む「エネルギー・マネジメント」

〈北九州市視察〉

製鐵の街である北九州市。

製鐵所跡地のエリアを特区として、高効率のガスコジェネ発電所を配置し、大型商業施設やオフィス、工場、住宅などにエネルギー・マネジメントシステムを導入。これらと地域節電所を繋ぎ、この地域のエネルギー需要を予想して、電気の価格を変動させ、電気の消費量をコントロールしようとする実証事業に取り組まれています。エネルギーを使うすべての人に情報を伝え判断をしてもらい、エリア全体での省エネルギーを達成しようという考え方で進められています。ポイントは「見える化」にあると考えます。

また、製鐵の過程でできる副生成物である『水素』を燃料電池などでエネルギーとして使うことも行われており、地域の特徴に併せた「エネルギーの地産地消」にも取り組まれています。

公害への対応という苦い経験から生成された『行政、市民、企業の環境政策に対する意識の高さと連携の良さ』。これが北九州市の取り組みの原動力であると感じました。

このように地域特性に合ったエネルギーをバランスよく使う、そしてエネルギーを供給から消費までマネジメントするという積極的な姿勢が今後必要になると考えます。そして、これらをリードするのは政治であろうと思います。引き続き、問題提起と政策提言を行っていきます。



毎週月曜の朝、

～JR石山駅にて～

駅で市政報告を行っています



柴田智恵美県議とともに
県政・市政報告を主に
JR石山駅で行っています。

今までにない デザイン!? NewDesign

新作小説
坦々!アヒモ!

新たな試みとして、似顔絵を使った民主党滋賀県第1区総支部のポスターを作成しました。

ポスターのデザインは変わりましたが、「暮らしを守る力になる」お伝えすべきことは変わりません。

(似顔絵が似ているか否かは、
皆さんのご判断にお任せいたします。)



ご自宅などでポスターの掲示にご協力いただける方を募集しております。「いいよ」と言ってくださる方、恐れ入りますが、ご一報いただけますと大変助かります。

人を
活かす視点

- ・子供が健やかに育ち、育てられる環境があるまち
- ・雇用が約束され、働く人が安心して暮らせるまち
- ・情報公開と市民参加による市民のためのまち

地域を
活かす視点

- ・地域自治の推進と行政の支援による活力あるまちづくり
- ・将来を見据え、目的を持った美しいまちづくり
- ・医療・介護など福祉施策が整うまちづくり

自然・文化を
活かす視点

- ・びわ湖と生き物すべてのための自然を守る取り組み
- ・湖都大津の誇る文化遺産を守り、伝える取り組み
- ・豊かな自然と歴史を活かした観光振興への取り組み

かわいの目指す 3つの視点

人とまちの魅力を
引き出すことが
市政の役割!!

2月通常会議 一般質問

英語で「何を表現し、伝えるのか」も大切である

～国際理解教育推進事業について～

今回提案されている国際理解教育推進事業の特徴は、小学校での英語の学習強化であると考えます。しっかりと議論が必要だと考え、質問を行いました。

- Q1** 新年度に1.5億円の予算が付けられようとしている国際理解教育推進事業において、どのような教育を行い、結果、どのような大人を育成しようとしているのか、ビジョンを伺う。

A 国際社会で主体的に活躍する大津の子どもを育てるために、世界の様々な言語や文化に興味を持ち、多様な価値観を持つ人々とより良い世界を築こうとする態度の育成と相互理解に必要なコミュニケーション能力の育成を図っていきたいと考えています。

- Q2** 相互理解に必要なコミュニケーション能力の育成を図ることのあるが、これはどのような能力か、その能力の育成は、この事業の中でどこに盛り込まれているのか？

A 本事業で指すコミュニケーション能力とは、国際社会の中で多様な価値観を持つ人々とも相互理解ができる能力であり、グローバル化に対応するためには、英語力の向上が重要であると考えます。本事業を通して、子ども達のコミュニケーション能力を育成していくと考えておりますが、*ALT配置事業や平野小学校のハッ

*ALT (Assistant Language Teacher) とは、小中高校などの英語の授業で日本人教師を補助する外国語を母国語とする外国語指導助手をいいます。
*ICT (Information and Communication Technology) とは、「情報通信技術」、コンピューター技術の活用の略です。

介護の担い手の確保を考える

～介護保険制度の周知と啓発について～

高齢化社会が進む中で、核家族化が進み、家庭における介護の担い手の減少が課題となり、介護サービスの重要性が増していますが、介護従事者の離職率は高い傾向にあります。

この要因の一つは、利用者及び家族の介護保険制度に対する勘違いや誤解からのトラブルへの対応が、精神的な負担となっている側面があるようです。また、利用者及び家族からのセクハラや暴力など「ハラスメント」の問題もあるようです。

現状、このようなトラブルへの対応は、主に、ケアマネージャーや事業者任せになっており、その対応に現場で働く方々は苦慮されているとのことです。事業者への指導や教育はもちろんですが、サービスを利用する方への働きかけも大切であり、質問を行いました。

- Q1** 介護保険制度の利用者と介護従事者間のトラブルの予防や解消のため、介護保険でできること、できないことの周知などさらなる行政の取り組みが必要と考えるが、今後の取り組みは？

A 介護保険制度の理解が深まるようパンフレットやホームページの内容を工夫するなど、周知に努めています。

また、市をはじめ、県国民健康保険団体連合会や県社会福祉協議会において、各種相談に対し、制度の仕組みとルールを十分説明し、マナーやモラルも含め、指導、助言により問題解決の支援をしています。相互の信頼関係を築くことが重要と考えており、制度周知や研修について充実を図っています。

本会議の詳細は、大津市議会ホームページの録画映像にて視聴できますので、ぜひご覧ください。
<http://www.kensakusystem.jp/otsu-vod/>

ピーEタイムでは、子どもたちが生の英語に触れる機会が増え、実際に、授業やそれ以外の時間において外国人とのやり取りすることにより、外国人の表現を理解し、また、学習した表現が外国人に伝わるかを学校の中で試すことが可能となり、異なる価値観や文化を持つ外国人とも自然にコミュニケーションができるようになると考えています。また、*ICTを活用したティーチングメソッドの研究開発においても、英語を使って、互いを理解しあえるようなコミュニケーション能力の育成ができるものと考えています。

- Q3** 英語で「何を表現し、伝えるのか」を考えたとき「表現し、伝えるもの」の基礎となるものは、算数や理科や社会、論理的な思考のベースとなる国語などで身につくものであり、特に小学校では、これらの学力をしっかりと身につけることが大変重要であると考えるが、これらの教科の強化・充実について見解は？

A 英語の表現力だけでなく、英語で何を伝えるかが大切であり、伝えたいことに関する知識や論理的な思考力などを身につけることが必要であり、英語教育に力を入れつつ英語で表現するベースとなる学力も学校教育の中で身につけることが大切であると考えています。

このほかにも、「限られた授業時間数の中で、英語教育の時間をどのように確保するのか？」「教員の配置、英語力など指導の体制をどのように担保するのか？」などについて、聞きました。今後も引き続き議論が必要であると考えます。



ガス事業自由化に備える

～ガス企業局の事業展開について～

ガス事業の自由化の議論が進められています。これまでのような、ガスを供給するだけの事業展開では、今後、経営状況を厳しくなるであろうと推測します。「これらに備えることが重要である」という視点から問題提起と今後の事業展開の方向性に関して提言を行いました。

紙ごみの処理は集団資源回収が優れている

～資源ごみの適切な回収について～

1月から大津市では、紙ごみの行政回収を始めました。目的は、「燃えるごみ」として捨てられている紙ごみを分別して減らすためです。一方で、今まで集団資源回収していた紙ごみが、利便性の高い行政回収へ流れているように見えます。紙ごみの処理について大津市が目指す方向を確認するとともに、問題提起と課題解決について提言を行いました。

ちなみに、処理費用は下記のとおりです。集団資源回収の方が、行政コストが低く優れているばかりでなく、回収に協力いただいた市民の皆さんに還元されるというものです。皆さんのご家庭や地域ではどのように紙ごみを処理していますか？

	1t当たりの処理費用	備考
燃えるごみ	約37,800円	
紙の行政回収	約13,700円	1トン当たり5,000円の収益有
紙の日	5,000円	内5,000円が処理業者へ
集団資源回収	5,000円	内2,000円が処理業者へ、3,000円が資源回収に取り組んだ団体（自治会、子ども会等）へ

人とまちの魅力を引き出すことが市政の役割!!

皆さんのご意見、ご要望などお聞かせください。

後援会へのご入会については、
「かわい昭成後援会事務所」までご連絡ください。

かわい昭成後援会事務所

所在地：大津市園山1-1-1 東レ労働組合滋賀支部内

TEL: 077-537-2137 FAX: 077-734-8538

